

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月8日

事業所名 リトルグリーンパードとみしろ教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0		
	2	職員の配置数は適切である	4	0		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	0	教室内に段差はありますが、テープを貼って目立たせるなどの配慮を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	毎日の清掃、消毒を行い、清潔な環境の維持に努めています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	0	ISO規格に基づく外部監査を実施しています。(品質、環境、学習、苦情)	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	毎月他教室と合同で勉強会を実施しています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	送迎時に保護者や園と情報を共有しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	毎月子どもたちとミーティングを行い、リクエストを取り入れています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	0	一人ひとりの状況に合わせて、個別活動や集団活動を組み合わせています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	朝・夕でスタッフミーティングを実施しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	終礼時にスタッフ間で振り返りを行い、個別記録へ記録しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	終礼時にスタッフ間で振り返りを行い、改善点があれば修正しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	3～6ヶ月ごとにモニタリングを実施しています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	日頃から支援に携わっているスタッフが参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/		現在まで医療的ケアが必要な児童はいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/		現在まで医療的ケアが必要な児童はいません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		送迎時やモニタリング時に情報共有を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	3		今年度移行した児童はいなかったが、必要に応じて対応を行います。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	保護者様を通じて情報を得ています。	豊見城市主催の研修は受講していますが、今後はその他の専門機関からも連携を図りたいと思います。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	1	同じ建物内にある学童クラブと日頃から挨拶をかわし、互いの活動を見学することもありました。	コロナの感染状況に応じて、企画をしていきたいです。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	0	豊見城市のかざぐるま会のイベントに参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	送迎時に情報共有を行い、課題の方向性を確認しています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	1	家庭連携に力を入れ、送迎時に意見交換および問題共有を心がけています。	今後とも、子どもへの対応方法などの助言に力を入れていきます。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時に行っています。		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		計画書作成時は、児童の中間評価とともに計画案を説明し、同意を得ています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	送迎時にお話を伺う体制を取り、事業所内でも相談を受け付けています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3		コロナの影響で保護者会の開催は自粛しています。落ち着き次第、開催していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	事業所内でも相談を受け付け、スタッフ全員で対応しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	月に1回教室だよりを発行、Facebookを活用して発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	鍵をかけたロッカーで管理しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	1	地域住民と事前協議を図った上で、イベントを行いました。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0	法人全体でマニュアル冊子を作成し、いつでも対応できるようにしています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	月に1回活動の中に取り入れています。ビル全体の避難訓練にも参加しました。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0	契約時、年度初めに確認をしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	保護者の情報を元に対応しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	毎月リトル全体で共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	虐待防止委員会を設置し、年に1回勉強会を開催しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	1	法人の方針として、身体拘束は絶対に行わないという共通認識を、年1回勉強会を設けて確認しています。	現在、身体拘束防止委員会を中心にマニュアルを作成しています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月8日

事業所名 リトルグリーンバードとみしろ教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	0		
	2	職員の配置数は適切である	4	0	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	3	0	教室内に段差はありますが、テープを貼って目立たせるなどの配慮を行っています。	一般的なテナントビルのため、バリアフリー化されていないのが現状ですが、安全に配慮した環境づくりを今後も行ってまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	0	年に1回アンケートを実施し、評価後に話し合いを行い改善に取り組んでいます。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	0	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	0	毎月他教室と合同で勉強会を実施しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	0	送迎時に保護者や学校と情報を共有しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	0	教室スタッフ全員で意見を出し合って計画しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	0	毎月子どもたちとミーティングを行い、リクエストを取り入れています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1	0	祝日や長期休暇中は、平日には難しいプログラムを組んでいます。	コロナの感染状況に合わせて、戸外活動や地域交流を増やしていきたいと思えます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	0	スタッフ間でミーティングを行い、作成しています。	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	0			

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	0	終礼時にスタッフ間で振り返りを行い、個別記録へ記録しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	0	終礼時にスタッフ間で振り返りを行い、改善点があれば修正しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0	0	モニタリング時にプランの見直しもやっている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	0	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1	0	日頃から支援に携わっているスタッフが参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	0	0	学校からの情報やプリント類などチェックし、保護者からも情報共有をしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/	/		現在まで医療的ケアが必要な児童はいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	0	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	3	0		まだ移行した児童はいないが、そういったケースに対応できるよう準備しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	0	豊見城市主催の虐待防止研修等の研修に参加しました。	今後も積極的に外部研修に参加していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	1	近隣学童と交流したことがあります(1回)	同じ建物内にある学童クラブと互いの活動を見学したり、日頃から挨拶を交わしています。コロナが落ち着き次第、積極的にイベントなどの機会を設けたいです。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	0	0	豊見城市自立支援協議会が主催するま会のイベントに参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	0	送迎時に情報共有を行い、課題の方向性を確認しています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	0	1	家庭連携に力を入れ、送迎時に意見交換および問題共有を心がけています。	ペアレントトレーニングのプログラムは行っていませんが、送迎やモニタリング会議時に対応方法などのアドバイスの機会を設けています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	0	契約時に行っています。	
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	0	送迎時だけでなく、電話や事業所内でも相談に応じています。		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2	1		コロナの影響で保護者会の開催が難しいですが、落ち着き次第開催します。保護者間の調整は実施できています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	0	都度スタッフ間でミーティングを実施、記録に残して他教室と共有している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	0	Facebookや毎月発行しているだよりで発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	4	0	0	個人情報書類は、鍵付きロッカーで管理しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	0	1	コロナの影響で積極的な交流は難しいです。	こちらが地域住民宅、会社へお邪魔し、地域交流を図っています。今後は、地域の方を招待する交流も企画していきたいです。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	0	0	マニュアル冊子を作成し、いつでも対応できるようにしています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	0	定期的に各災害の避難訓練を実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	0	入職時や年に1度、虐待について研修を実施しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1	0	身体拘束防止委員会を設置し、年に1回の研修を実施しています。	現在、身体拘束に関する指針の見直しを行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	0	他教室と連携し、医師からの研修を受けました。	今後も保護者からの情報を元に、対応してまいります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	0	毎月他教室と情報共有を行っています。	

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年3月8日

事業所名 リトルグリーンバードとみしろ教室

保護者等数(児童数) 5 回収数 4 割合 80%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	3	0	0	1		国の設置基準を満たした広さです。
	2	職員の配置数や専門性は適切である	3	0	0	1	配置基準がわからないので答えられない	利用人数10名に対して児童指導員2名という人員基準を満たしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	0	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	0	0		
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	4	0	0	0	適切に行われている	ありがとうございます。今後も家庭・園との連携を図り、一人ひとりに合わせた支援計画を立てていきます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	0	0	適切に行われている	ありがとうございます。今後とも子どもたちに必要な適切な支援を行ってまいります。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	0	0	適切に行われている	スタッフ間で共通認識を図り、日々支援にあたっています。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	4	0	0	0	適切に行われている	今後も、保護者からの要望も活動に取り入れてまいります。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	1	0	1		
適切な支援の提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	4	0	0	0		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	4	0	0	0	適切である	支援計画の更新時には、対面での丁寧な説明を心がけています。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	4	0	0	0		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4	0	0	0	連絡帳にきめ細やかに記入していただき助かっている	ありがとうございます。今後も、教室だよりやFacebookでも子どもたちの成長を発信してまいります。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	4	0	0	0		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1	2	0	1		コロナの影響で保護者会の開催が難しいですが、落ち着き次第開催します。保護者間の調整は実施できています。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	4	0	0	0		
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	4	0	0	0		
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	4	0	0	0		
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	4	0	0	0		
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	3	1	0	0		州鵬会では、事業所ごとに業務マニュアルを作成しています。また、月に1回集団活動の中に避難訓練を取り入れています。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	3	0	0	1		スタッフだけでなく、子どもたちも避難訓練に参加し、有事に備えています。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	2	2	0	0	機嫌の悪い時は嫌がるが、行けば楽しんでい	子どもたちが楽しんで通える場となるよう、改善してまいります。
	23 事業所の支援に満足している	4	0	0	0	着実に成長している	ありがとうございます。今後も子どもたちと真摯に向き合い、成長をサポートしてまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年3月8日

事業所名 リトルグリーンバードとみしろ教室

保護者等数(児童数)12人 回収数9人 割合75%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1	0		国の設置基準を満たした広さです。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	0	0		利用人数10名に対して児童指導員2名という人員基準を満たしています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	5	0	事業所内の設備は覚えていません	教室内の段差にテープを貼るなど、視覚的に配慮をしております。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	9	0	0		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9	0	0		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	4	0	コロナのためできないと思う	合同イベントなどはまだ実施できていませんが、向かいの学童クラブの活動の様子を互いに見学する、日頃から挨拶をするなどの交流は図っています。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	1	0	未回答1名	日頃の送迎時やモニタリング時に説明しています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9	0	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	1	0		モニタリング会議だけに限らず、日頃から相談に応じています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	4	2	父母会で情報交換の場があると嬉しい ・コロナのため難しい ・独断、特に必要ないと思うが、何かあれば対応できる	コロナの影響で保護者会の開催が難しいですが、落ち着き次第開催します。保護者間の調整は実施できています。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1	0		州鵬会では、ご意見を受け付け、原因追求、対応するシステムが確立されています。

	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	1	0		おたより帳では書ききれなかったことや、学校からの情報を送迎時に直接お伝えしています。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0	0		
	14	個人情報に十分注意しているか	9	0	0		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	2	0	よく覚えていない	州鵬会では、事業所ごとに業務マニュアルを作成しています。また、月に1回集団活動の中に避難訓練を取り入れています。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	1	0		スタッフだけでなく、子どもたちも避難訓練に参加し、有事に備えています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	6	3	0	本人の成長もあり、たまに行きたくないと言う	未就学児から高学年まで楽しめるよう、プログラムを見直します。
	18	事業所の支援に満足しているか	8	1	0		子どもたちだけでなく、保護者にも満足していただける支援を目指していきます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。